

科目区分	専門教育科目	科目名	発達と老化の理解Ⅱ		科目コード	17F680	担当者	植木 明子			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	前期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
発達の観点からの老化に関する心理や、身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を学ぶ						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	老化に伴う体の変化と日常生活への影響が言える										
2.	高齢者の疾病と日常生活の留意点が言える										
3.	介護予防事業に参加することで、高齢者の生活課題を理解することができる										
4.								◎		○	○
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（70%） 臨時試験（10%） 提出物（10%） 受講態度（10%）					
教科書に沿って病気について学んでいきます。実際に事例研究担当者から得た情報をもとに疾病についての留意点も学んでいきます。また、介護予防事業に参加し介護予防の視点も学習します。											
準備学修						課題等への対応					
事前にテキストに目を通しておきます。個別に国家試験向けの問題を解いていきます。毎回60分程度の予習復習しながら学べます。						小テストや後期試験については、試験問題を返却します。提出されたレポートも返却しません。					
授業計画											
第1回	老化に伴う体の変化と日常生活への影響										
第2回	老化に伴う知的機能の変化と日常生活への影響（記憶・知的機能の変化）										
第3回	高齢者の症状・疾患の特徴 老化に伴う心身の変化の特徴										
第4回	高齢者に多い症状・訴えとその留意点①										
第5回	高齢者に多い症状・訴えとその留意点②										
第6回	高齢者に多い症状・訴えとその留意点③										
第7回	高齢者と健康 高齢者に多い病気とその留意点①										
第8回	高齢者と健康 高齢者に多い病気とその留意点②										
第9回	高齢者と健康 高齢者に多い病気とその留意点③										
第10回	高齢者と健康 高齢者に多い病気とその留意点④										
第11回	高齢者と健康 高齢者に多い病気とその留意点⑤										
第12回	事例研究対象者から学ぶ										
第13回	事例研究対象者から学ぶ										
第14回	介護予防事業から学ぶ										
第15回	高齢者に多い病気のみまとめ（国家試験対策）										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
発達と老化の理解 新介護福祉士養成テキスト 中央法規						高齢者の心と体についてよく理解することが介護の質の向上につながります。学習した内容は他の教科とも連動します。難しい言葉もありますがしっかり理解していきますよう					